



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA

 JA全農ちば



私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

1月5日(木) 初市の野菜宝船(大田市場)

CONTENTS

年頭のご挨拶

全農自己改革

- ・買取販売の拡大・実需者直接販売の拡大

営農情報

- ・園芸野菜 病害虫防除情報

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀情報

- ・米穀情勢

肥料情報

- ・水稻育苗培土・省力化技術のご紹介

資材情報

- ・「本州太陽シート」でらくらく平置き育苗(水稻)

トピックス

- ・イオン近畿圏で千葉県フェアを開催!
- ・令和4年度千葉県農協A.T.A協議会
総合技術研究会および専門指導員資格認証式を開催

ハラペコさんに贈るいちばんレシピ

- ・タアサイとあさりの焼きそば



年頭のご挨拶



全国農業協同組合連合会千葉県本部
運営委員会会長 林 茂 壽

令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
組合員、ＪＡならびに関係機関の皆様におかれましては、ご健勝
にて新たな年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが感染の拡大と収束を繰り返す中、ロシアのウクライナ侵攻により緊迫化した国際情勢が、肥料や飼料、燃料の高騰に拍車をかけ、農業を取り巻く情勢は、非常に厳しい状況となりました。加えて、為替の急激な変動は、国内経済に多大な影響を及ぼすことはもとより、緊迫化した国際情勢と相まって、食料安全保障に対する国民の意識はこれまでになく高まりを見せたところであり、ＪＡグループでは、食料安全保障の強化に向け政府に対し政策提案を実施していくこととしております。

このような状況下、国は、特に組合員の営農活動に欠かせない肥料の価格高騰に対して、788億円の肥料価格高騰対策事業を決定しました。

また、ＪＡグループ千葉では、組合員の皆様に支援すべく、昨年6月には千葉県知事に対し、農業生産資材・燃油価格高騰対策に関する緊急要請を実施し、9月の補正予算では、新たに肥料価格高騰緊急支援事業として、11億5千万円が充てられることとなりました。

今後も、ＪＡグループをあげて、持続可能な農業・地域・事業・経営基盤の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

ＪＡ全農は、3か年計画（2022～24年度）の2年目となります。今次3か年計画では、2030年のあるべき姿を見据えて「持続可能な農業と食の提供のため“なくてはならない全農”であり続ける」という基本姿勢のもと、自己改革の取り組みを前進させ、農業者所得の増大を組合員の皆様に実感していただけるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、本会事業へのご理解とご協力をお願いするとともに、本年が皆様と千葉県農業にとりまして新たに飛躍する年となりますようご祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

食と農を
未来へつなぐ全農自己改革の取組状況
米穀事業

買取販売の拡大・ 実需者直接販売の拡大

全農自己改革

1. 取組目標と内容

生産者の手取りの早期確定による農業経営の安定をはかるため買取販売を拡大し、実需者に対する安定供給を継続するとともに、生産者に対しては実需者ニーズに基づく生産販売を提案します。

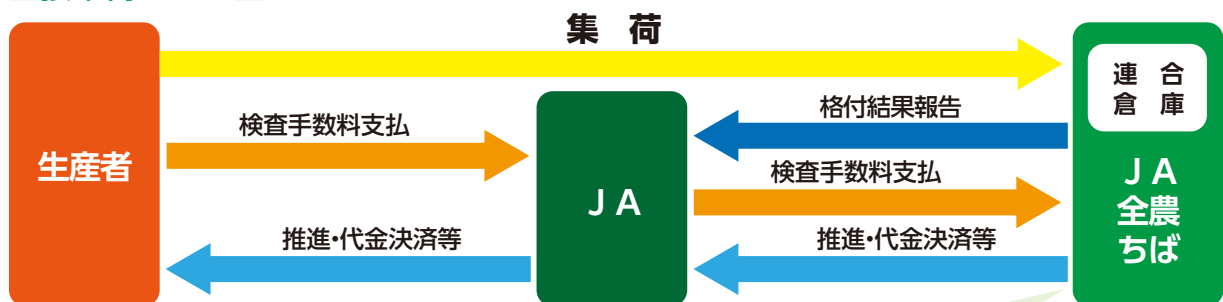
2. 自己改革の進捗状況

(1) 買取販売の拡大

- 米穀卸と販売数量の事前契約を結び、販売先の確保に努めています。
- J A・千葉県農業者総合支援センターと連携し、大規模担い手生産者からの直接集荷に取り組んでいます。

令和4年産米実績：6 J A 992.37トン（前年比98%）

直接集荷フロー図



連合倉庫で農産物検査をする検査員



(2) 実需者直接販売

- 生協・量販店・業務用取引先および米穀卸との契約を結び、安定した取引に継続的に取り組んでいます。
- 大規模大規模担い手生産者（89名）を対象に反収の確保や作期分散を目的に実需者提携米の契約栽培を提案し、実需に結び付けた販売をすすめています。

令和4年産米実績：1,185トン（前年比78%）

3. 今後の取り組み

引き続き、生産者の農業経営の安定化に向けて、実需者ニーズに基づく提案や需要に応じた生産販売に取り組んでまいります。

営農情報

園芸野菜 病害虫防除情報

1. はじめに

気象庁発表の1か月予報によると、1月は晴れの日が多く、気温が平年よりも高くなる見込みとなっています。病害虫の発生は、年内から比較的少なく推移していますが、この時期から発生させてしまうと春先の被害が大きくなるリスクがあります。引き続き、病害虫発生前から初発生までの防除を徹底しましょう。

2. いちご — うどんこ病・灰色かび病

予防主体の防除を！

(1) うどんこ病

いちごのうどんこ病は、はじめ葉裏から発生することが多く、感染が拡大すると葉表や葉柄、果実にも被害が及びます。未熟な果実に発生した場合、肥大が悪くなるほか、成熟しても果色が悪く味も低下してしまいます。胞子の発芽適温は17～20℃前後で、空中を飛散して広がります。**開花結実期に発病すると被害が大きくなるため、予防主体の徹底した防除を行いましょう。**



葉に発生したうどんこ病

(2) 灰色かび病

いちごの灰色かび病は、はじめ枯死した下葉などで病原菌が寄生増殖し、感染が拡大すると主に果実を中心に、果梗や葉柄、葉を侵します。果実が発病すると、褐変して灰色のカビを生じます。病原菌の発育適温は23℃ですが、最低2℃でも発育します。また、**過繁茂状態や湿気の高いところは発病が多くなるため、薬剤防除のみに頼らず、施設内の環境改善にも取り組みましょう。**



果実に発生した灰色かび病

(3) 薬剤防除

●いちご うどんこ病・灰色かび病 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数※1	使用時期	使用回数	備考
うどんこ病	3	トリフミン水和剤	3000	収穫前日まで	5回以内	予防・治療
	50	プロパティフロアブル	3000		3回以内	予防・治療
うどんこ病 ・ 灰色かび病	M7	ベルコートフロアブル	2000		5回以内	予防
	7	ケンジャフロアブル	1500		3回以内	予防
	9	フルピカフロアブル ※2	2000		3回以内	予防
	7+11	シグナムWDG ※3	2000		2回以内	予防・治療
灰色かび病	9+U13	ショウチノスケフロアブル ※2	2000		2回以内	予防・治療
	12	セイビアーフロアブル20	1000		3回以内	予防

※1 希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています（例：2000～3000倍登録→2000）

※2 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて3回以内）

※3 シグナムはカンタスの成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて3回以内）



3. きゅうり ― うどんこ病・菌核病・灰色かび病

施設栽培での急拡大に注意！

(1) うどんこ病

きゅうりのうどんこ病は、主に葉の表面に発生し、被害が進むと葉全体が白い粉で覆われ、やがて枯死します。15～28℃のやや乾燥条件下で多発します。乾燥条件では被害が早く拡大しますので、発病を認めたらすぐに薬剤防除を行いましょう。

(2) 菌核病

きゅうりの菌核病は、茎、果実、および葉に発生します。果実では、下の写真のように花落ち部分から侵され白色の菌糸を、葉には淡褐色から灰色の大きな病斑を生じます。発病適温は20℃前後ですが、10℃以下の日が続いても発生が多くなります。また、**露地栽培よりも施設栽培で発生が多くなる傾向にあります。無加温ハウスは本病発生の好適条件となるため、特に注意しましょう。**

(3) 灰色かび病

きゅうりの灰色かび病は、主に咲き終わってしぼんだ花の部分から感染し、下の写真のような灰色のカビを生じます。感染拡大すると主に地面に近い幼果から侵し、果実を黄褐色化させ、しだいに軟らかく腐敗させます。菌核病との同時防除が可能です。が、**灰色かび病菌の耐性菌の出現に注意し、同一系統薬剤の連用・多用は避けましょう。**



うどんこ病の病斑



果実に発生した菌核病の菌核



灰色かび病の病斑

(3) 薬剤防除

●きゅうり うどんこ病：☐・菌核病：菌・灰色かび病：☐ 防除薬剤

対象病害	FRACコード	薬剤名	希釈倍数※1	使用時期	使用回数	備考
☐・菌・☐	M7	ベルコートフロアブル	2000	収穫前日まで	7回以内	予防
	7	アフエットフロアブル	2000		3回以内	予防
		ケンジャフロアブル	1500		4回以内	予防
	11	アミスター20フロアブル	1500		4回以内	予防・治療
☐・☐	9	フルピカフロアブル ※2	2000		4回以内	予防
	9+U13	ショウチノスケフロアブル ※2	2000		2回以内	予防・治療
菌・☐	12	セイピアーフロアブル20	1000		3回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1500		5回以内	予防・治療
	2	ロブラール水和剤	1000		4回以内	予防・治療

※1 希釈倍数は登録のうち最大濃度を示しています（例：2000～3000倍登録→2000）

※2 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて4回以内）



園芸情報

販売経過および情勢

青果物 12月の販売経過

12月の気温は東・西日本で低くなりました。降水量は北・東日本の日本海側と沖縄・奄美で多く、降雪量は東日本日本海側で多くなりました。一方で、日照時間は北日本の日本海側と沖縄・奄美で少なくなりました。

12月の東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は、前年同月比で102%となりました。

天候不順の影響で前年が不作傾向だったばれいしょ類やミニトマト、かんしょ等は前年を上回る入荷量となりました。一方、天候不順と冷え込みの影響を受けたきゅうりは前年を下回る入荷量でした。

単価は、前年同月比で99%となりました。

前年より入荷量が多かったばれいしょ類、たまねぎは前年を大幅に下回った一方、入荷量が少なかったきゅうりやはくさい等は前年を大幅に上回りました。

国産果実の入荷量は、前年同月比で106%となりました。

前年に天候不順の影響を受け少ない入荷量だった柿やりんご類は、前年を大幅に上回る入荷量でした。天候不順の影響を受けたいちごの「とちおとめ」やみかん類は前年を下回る入荷量でした。

単価は、前年同月比で96%となりました。

前年を大幅に上回る入荷量となった柿やりんご類等は前年を下回った一方、入荷量が少なかったみかん類等は前年を上回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜入荷量および単価（12月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
上 旬	46,109	120	200	91
中 旬	39,690	97	233	102
下 旬	39,640	91	287	107
月 計	125,439	102	238	99

JA全農ちばの販売状況（12月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	375,778	99	138	108	5,169	107
果 実 計	126	88	2,005	103	252	91
だいこん	9,544	102	57	103	545	105
にんじん	10,954	99	101	115	1,105	114
キャベツ	6,614	93	60	111	398	103
ほうれん草	148	90	364	101	54	91
ね ぎ	1,995	118	292	109	583	128
春 菊	134	97	789	94	106	91
レ タ ス	537	73	221	122	118	90
パ セ リ	47	112	1,037	61	49	68
きゅうり	1,063	79	439	135	467	106
ト マ ト	605	107	322	87	195	92
さつまいも	3,249	113	216	96	701	109
い ち ご	122	88	2,060	103	251	90

1 月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+ 10%以上
やや多・やや高	+ 5%～10%
並	± 5%以内
やや少・やや安	- 5%～10%
少・安	- 10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品 名	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キ ャ ベ ツ	やや少	12,887	やや高	99	愛 知 千 葉 神奈川	主力の愛知の生育は概ね順調。千葉は前進出荷の影響から多くはなく、全体では前年をやや下回る見込み。単価は前年をやや上回る見込み。
だ い こ ん	並	10,315	やや高	77	千 葉 神奈川	千葉・神奈川ともに生育は順調で、特に千葉は生育前進の影響で後半の出荷量は減少する見込み。全体量は少なかった前年並みを見込み、単価は前年をやや上回る見込み。
に ん じ ん	並	8,567	やや高	103	千 葉 埼 玉	台風等の被害はなく生育は順調。太物比率が高く、前年並みの出荷量を見込む。単価は前段産地の残量が多く販売苦戦していた前年より販売環境がよく、前年を上回る見込み。
ト マ ト	やや多	5,215	やや安	339	熊 本 愛 知 栃 木	各産地の生育は順調で、大玉の出荷を見込む。中旬頃までは潤沢な出荷が続き、全体量は少なかった前年を上回る見込み。単価は前年を下回る見込み。
き ゅ う り	やや少	4,611	やや高	374	宮 崎 千 高 葉 知	年内は天候不順と寒波により各地の出荷は少なく、相場が高騰した。年明け以降に越冬作は増量するものの、大幅な増加は見込めず、単価は安値だった前年を上回る見込み。
ね ぎ	やや多	5,696	やや安	260	千 葉 茨 城	台風等の被害がなく生育は順調。2L比率が高く、太物中心での出荷が続き、出荷量は前年を上回る見込み。単価は前年をやや下回る見込み。
ほうれん草	並	1,282	やや安	595	群 馬 茨 城 埼 玉 千 葉	12月中旬以降の低温により出荷量は減少。1月中旬までは減少傾向で、以降は増量となり前年並みの出荷量を見込む。増加にともない販売環境は悪化し前年を下回る単価を見込む。
パ セ リ	多	35	安	1,482	千 葉 静 岡	前年は病害の発生により少ない出荷量となったため堅調な相場となった。本年は各産地の生育は順調で、出荷量は前年を上回り、単価は前年を下回る見込み。
春 菊	並	313	並	873	千 葉 栃 木	12月以降の冷え込みにより、少なかった前年並みの出荷量を見込む。冷え込みにより鍋物需要などが活発となり、前年並みの堅調な単価となる見込み。
レ タ ス	やや少	5,216	並	182	静 岡 兵 庫 長 崎	西南暖地は降雪や冷え込みにより生育が停滞。年明け以降も出荷量は少ない見込み。千葉も生育に遅れが生じ、全国的な不足感から単価は高かった前年並みを見込む。
な ば な	やや多	152	並	781	千 葉 香 川	各産地の前進出荷と冷え込みの影響が見られるが、出荷量は少なかった前年を上回る見込み。量販店からの需要は多いことから単価は前年並みを見込む。
さつまいも	やや多	3,532	やや安	283	千 葉 茨 城	全国的な作付面積の増加に加え、天候による被害も少ないため出荷量は前年をやや上回る見込み。単価は前年をやや下回る見込み。
い ち ご	やや多	3,551	やや安	1,833	栃 木 福 岡	1番果と2番果の端境が大きかった前年に比べて本年は大きな端境はなく、潤沢な出荷が見込まれる。全体量が多いことから、前年を下回る単価を見込む。

花 販売情勢

◆12月の販売経過【切花】

12月前半は、全国的に気温の低下による冷え込みの影響を受け、出荷量に大幅な増量はなかったものの、11月のプライダルや葬儀等の業務需要が落ち着き、年間を通して品薄による単価高で推移していたため、仕入れを控える店舗も多く、やや弱めな荷動きとなりました。月後半になると、年末年始に向けて需要が高まったものの、依然として気温の低下が続き出荷量は伸びず、日本海側を中心とした降雪による輸送への影響も重なり数量がまとまらない品目が多く、安定した単価での販売となりました。

また、松市・千両市においては、松は上位等級品は少なかったものの入荷量は好天の影響から数量の少なかった前年よりも多く、平年並みとなり安定した販売となりました。千両においては、夏場の高温による生育不良により出荷量は平年を大きく下回り、高値での販売となりました。

◆今後の見通し（2月）【切花】

本年においては、生産資材や燃料費等の生産コストの負担が増え、各産地においては暖房費の節減を理由に加温を控えている傾向にあり、生育に遅れがみられる可能性があります。

販売については、2月は大きなイベントもなく、バレンタイン需要中心の動きとなりますが、近年では、都心部でフラワーバレンタインが定着し、専門店に限らずスーパー・量販店においても多種多様な品目が販売されているため洋花中心の動きが見込まれます。また、下旬以降では桃の節句や卒業式等のイベントに向け需要が高まる見込みとなっています。



◆今後の見通し（2月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
ス ト ッ ク	東北産地の出荷は終了し、千葉の出荷が主力。 冷え込みの影響から出荷は落ち着くものの、例年、下旬にかけて気温上昇による咲きすぎ等の品質不良が懸念される。
カーネーション	千葉・愛知の出荷が主力。 国産品は大きなピークもなく安定した出荷を見込む。輸入品については、為替と主力の中国における春節の影響次第ではあるが、例年並みの出荷を見込む。
キンセンカ	千葉の出荷が主力。 生産者の高齢化により出荷量は平年を下回るものの、台風等の天候被害もなく生育は順調に推移している。今後、気温上昇となれば前進出荷となる見込み。 サブスク等での利用も増え、上旬から徐々に動きが出る見込み。
ガ ー ベ ラ	千葉・愛知・静岡の出荷が主力。 各産地において、燃料費高騰の影響から加温調整することが見込まれ、出荷量は平年を下回る見込み。 バレンタイン需要中心の販売。
菜 の 花	千葉・愛知・和歌山の出荷が主力。 台風被害もなく生育は順調となっているものの、高齢化の影響から出荷量は平年を下回る見込み。 桃の節句に向け、下旬頃から動きが出てくる見込み。

米穀情報

米 穀 情 勢

1. うるち米の民間在庫量推移について

農林水産省が12月27日に公表した民間在庫の推移によると、令和4年11月末現在の在庫量は330万トンと前年より21万トン減少しています。これは4年産米作付転換にともない、4年産主食うるち米の流通量が減少していることが要因です。

一方で、3年産米（古米）在庫は49万トン残っています。2年産米（古々米）在庫を含む過年産在庫は依然として多く、国の事業を活用した長期計画的な販売が進められているところです。

【図表1】全国段階の民間在庫の推移（うるち米・出荷＋販売段階）

（単位：万玄米トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元 / 2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
2 / 3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
3 / 4年	138	118	214	330	351	349	326	299	271	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+7	+7	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3年産米	0	11	129	253	285	293	278	259	236	208	179	149
1年古米（2年産）	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4 / 5年	142	122	200	313	330							
対前年差	+3	+4	▲14	▲17	▲21							
4年産米	1	12	113	237	264							
1年古米（3年産）	124	94	71	58	49							

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1. 水稻うるちもみおよび水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2. 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3. 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4. 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

2. 米穀販売事業者における販売数量の動向について

農林水産省が公表した「米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向」によると、令和4年11月単月の米穀販売事業者の販売数量は前年同月との変動はありませんでした。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年の水準を下回っています。特に中食・外食事業者向けの販売数量は回復が遅れています。

また、価格についても小売事業者向けは回復傾向にありますが、中食・外食向けには安価な古米の使用を継続する事業者が多く、価格回復が遅れています。

【図表2】米穀販売事業者における販売数量および販売価格の動向（速報）

ア. 販売数量の動向

前年同月比（カッコ内は令和元年同月比）

	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
小売事業者向け販売	97.2%	95.2%	99.2%	99.3%	97.3%	99.6%	96.3%	98.0%	97.0%	98.1%	99.8%
（令和元年との比較）	(104.5%)	(101.6%)	(103.3%)	(100.0%)	(100.7%)	(101.9%)	(98.0%)	(103.5%)	(98.0%)	(96.8%)	(98.6%)
中食・外食事業者等向け販売	105.1%	101.3%	101.0%	103.0%	106.4%	104.1%	100.9%	109.2%	108.6%	104.4%	100.2%
（令和元年との比較）	(89.9%)	(88.1%)	(91.7%)	(93.5%)	(93.0%)	(96.2%)	(91.6%)	(92.8%)	(98.1%)	(95.3%)	(94.4%)
販売計	100.6%	97.7%	100.0%	100.9%	101.1%	101.5%	98.3%	102.8%	101.9%	100.9%	100.0%
（令和元年との比較）	(97.3%)	(95.4%)	(98.0%)	(97.1%)	(97.2%)	(99.4%)	(95.0%)	(98.4%)	(98.1%)	(96.1%)	(96.6%)

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

イ. 販売価格の動向

前年同月比（カッコ内は令和元年同月比）

	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
小売事業者向け販売	91.6%	91.2%	90.1%	90.5%	90.5%	90.8%	91.4%	92.2%	94.1%	98.4%	101.4%
中食・外食事業者等向け販売	92.9%	91.3%	92.7%	92.1%	90.8%	90.8%	91.0%	91.0%	89.9%	91.1%	94.3%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1. 調査対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トン以上の販売事業者である。

2. 上記の数値については、調査対象者が販売している精米の全体の数量・価格の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

3. 速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

3. 需要に応じた生産の取り組みについて

4年産における大幅な作付転換により、米の需給環境は一定の改善がはかられました。しかしながら、依然として多く残っている古米在庫や回復途上にある消費量を勘案し、需要に応じた生産を継続する必要があります。

生産者の皆さまにおかれましては、5年産米生産に向けた準備を進められているところですが、地域再生協議会等から示された5年産生産目安を踏まえ、引き続き戦略作物等への作付転換を4年産並みに維持し作付いただくよう、ご検討をお願いします。

【図表3】令和5年産米における地域農業再生協議会等別の生産目安

地域農業 再生協議会等	数 量			面 積			令和5年産米に おける地域の合 理的な単収 (kg/10a)
	令和4年産米		令和 5年産米	令和4年産米		令和 5年産米	
	生産目安 (トン)	生産実績 (トン)	生産目安 (トン)	生産目安 (ha)	生産実績 (ha)	生産目安 (ha)	
千葉県	251,207	247,500	251,207	46,177	45,500	46,177	544

注1 令和4年産米の市町村または地域農業再生協議会別の生産実績（数量）は、同生産実績（面積）に市町村別の基準単収を乗じて算出した推計値。

注2 令和4年産米の市町村または地域農業再生協議会別の生産実績（面積）は、市町村または地域農業再生協議会が把握した面積であり、その合計は国統計部が公表する令和4年産の千葉県の主食用米作付面積とは異なる。

4. 令和5年産における水田活用の直接支払交付金等について

令和4年産からの変更点は、飼料用米・米粉用米の複数年契約（継続分）加算がなくなり、コメ新市場開拓等促進事業として米粉用専用品種への支援措置が設定されます。

【図表4】 令和5年産における水田活用予算の概要（抜粋）

〔令和4年度補正予算〕

畑地化促進事業：250億円

対象作物	畑地可支援（注2）	定着促進支援（注3）
高収益作物 （野菜、果樹、 花き等）	17.5万円/10a	・2.0（3.0 _{※1} ）万円×5年間 または ・10.0（15.0 _{※1} ）万円/10a（一括） ※1 加工・業務用野菜等の場合
畑作物 （麦、大豆、 飼料作物（牧 草等）、子実 用とうもろこ し、そば等）	14.0万円/10a	・2.0万円/10a×5年間 または ・10.0万円/10a（一括）

注1 畑地化は、交付対象水田から除外する取り組みを指す。
（地目の変更を求めるものではない）

注2 令和5年度における取り組みが対象。

注3 令和4年度または5年度において、畑地化した面積全体が対象。

畑作物産地形成促進事業：300億円

支援内容

①対象作物

麦・大、高収益作物（加工・業務用野菜等）
子実用とうもろこし

※加工用米、新市場開拓用米に対する支援は、令和5年度当初予算において検討

②助成単価

4万円（4.5万円※）/10a

※令和6年度に畑地化に取り組む場合

③主な要件

- ・実需者との結び付き（産地・実需協同プランの策定）
- ・低コスト生産等の取り組みの実施（3つ以上の技術導入）

〔令和5年度当初予算〕

水田活用の直接支払交付金：2,940億円

作付面積に応じて

〔戦略作物助成〕

- ・加工用米 20,000円/10a
- ・WCS用稲 80,000円/10a
- ・飼料用米/米粉用米 55,000円～105,000円/10a

〔産地交付金〕

- ・新市場開拓用米 20,000円/10a
- ・新市場開拓用米の複数年契約 10,000円/10a

※令和5年から、飼料用米・米粉用米の複数年契約継続のみ）6,000円/10aは交付対象となりません。

同一圃場でどちらか一方のみ支援可

コメ新市場開拓当促進事業【新規】：110億円

主な要件として、

- ①実需者との結び付き
- ②低コスト生産等の技術導入

を行う場合に

- ・新市場開拓用米 40,000円/10a
- ・加工用米 30,000円/10a
- ・米粉用米（専用品種） 90,000円/10a

※パン・めん用の専用品種

<飼料用米の一般品種について>

令和5年度については従来と同様です。

令和6年度から標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円／10a（5.5～7.5万円／10a）となります。

<コメ新市場開拓等促進事業について>

実需者ニーズに応えるため、低コスト生産等の取り組みに対する支援です。

産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための低コスト生産等の技術導入を行う場合に、取組面積に応じて支援されます。

ア．対象作物：令和5年産の新市場開拓用米、加工用米、米粉用米
（パン・めん用の専用品種）イ．交付単価：新市場開拓用米 4万円／10a
加工用米 3万円／10a
米粉用米（パン・めん用の専用品種） 9万円／10a

ウ．採択基準：地域協議会単位で、取組面積等の評価基準（ポイント）にもとづき予算の範囲内で採択されます。

留意事項

- ・令和5年産の基幹作が対象です。
- ・農業者等が実需者と販売契約を締結するまたはその計画を有していることが必要です。
- ・本支援の対象となった面積は、令和5年度水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成（加工用米、米粉用米）および都道府県に対する産地交付金の取組に応じた追加配分（新市場開拓用米）の対象面積から除きます。

肥料情報

水稻育苗培土・省力化技術のご紹介



昔から『苗半作』と言われるように、根はりが良く強い苗を作成することは、本田での活着、初期生育に影響するととても重要な作業です。
一緒に、5年産稲作の最高のスタートを目指しましょう。

◆千葉県で長きにわたりご利用頂いている信頼と実績のある培土シリーズ



【合成培土3号】

粒揃いが良く、透水性・通気性・保水性に優れる定番の粒状培土です。



【平成培土】

価格を抑えた培土です。



【軽量培土15】

床土に使用することで、苗箱1箱が約1kg軽くなります！

◆フレコン荷姿の紹介

【1,000kgフレコン】



【500kgフレコン】



【1,000kgフレコン】



【500kgフレコン】

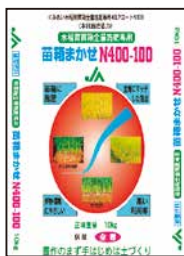


【500kgフレコン】

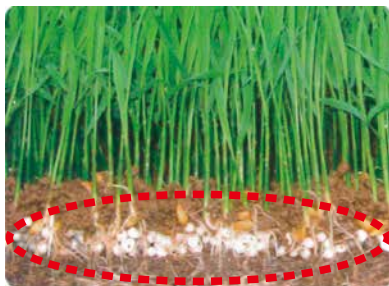


- 1,000kgフレコンは、倒れにくく、保管しやすい形状のフレコンを採用しております。
- pHは、4.5～5.5に調整してあります。

究極の省力化肥料「苗箱まかせ」



- 播種時に「苗箱まかせ」を苗箱に施肥することで、本田での基肥と追肥作業が省略可能となります！
 - 肥料の利用効率が側方施肥よりも優れている接触施肥のため、減肥が可能となります！
- ➡ 使い方次第では、肥料コストを削減することも可能となります！



育苗時の「苗箱まかせ」

苗箱まかせのタイプ

苗箱まかせN400-60（60日タイプ）
苗箱まかせN400-100（100日タイプ）
苗箱まかせN400-120（120日タイプ）
苗箱まかせN400-100B30（60日+100日ブレンドタイプ）
苗箱まかせN400-120B30（60日+120日ブレンドタイプ）

◆「苗箱まかせ」は10kg袋、500kgフレコンがあります！

詳しい使い方については最寄りのJAにお問い合わせください

生産資材
情報「本州太陽シート」で
らくらく平置き育苗（水稻）

1. 「本州太陽シート」とは

「本州太陽シート」（以下、太陽シート）は表面がキラキラと反射する薄いアルミ蒸着シートで、水稻の平置き育苗向けに開発された商品です。太陽シート最大の特徴は高い遮熱性で、シート内の温度上昇を抑えるため、基本はハウス内が高温になっても換気の手間がありません。シート自体も熱を持たない素材のため、苗先が触れても焼ける心配がありません。

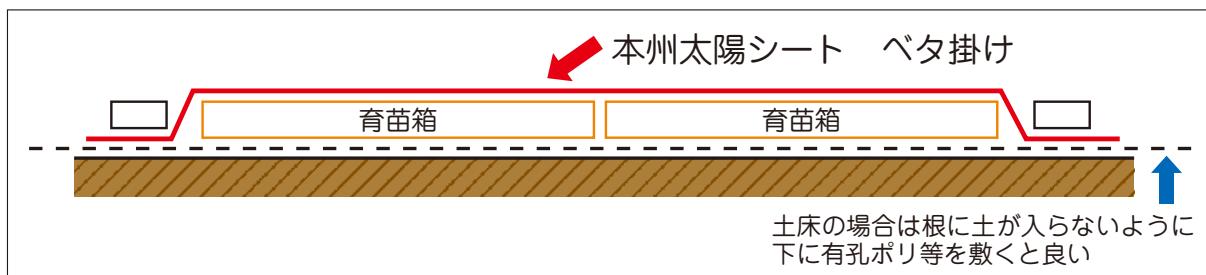
* 野菜の育苗（ネギ、玉ねぎ、ほうれん草等）にも使用できます。

2. 使用方法（平置きべたがけ育苗法）

ハウス内に播種した育苗箱を平らに並べ、灌水を十分に行います。（プール育苗にも最適です）その上に太陽シートを直接べたがけし、出芽するまで約1週間かけておくだけです。**高い遮熱性により、面倒な日中のハウス換気作業は不要です。**夜間はアルミ層が地面からの放熱を抑え、シート下を保温します。アルミ層を含む3層構造が水分の蒸発を防ぐため、出芽まで追加の灌水も必要ありません。一定の適温下で育苗することで根張りが良い苗に生長します。

* 外気温が26℃以上の場合やハウスが隣接している場合は換気を推奨します。

出芽が始まり、不完全葉が10～15mm程度の高さになる頃に、太陽シートをはがして緑化に移行します。



3. 規格

巾×長さ	梱包単位	荷姿
1,700mm×50m	3本	紙管巻き
2,000mm×50m	3本	紙管巻き
2,400mm×50m	3枚	3ツ折り
2,700mm×50m	3枚	4ツ折り



商品説明



使い方



旭洋緑HP

「本州太陽シート」の詳細は下記のURLまたはQRコードからご覧ください。

https://www.kyokuyo-pp.co.jp/product_service/pickup/pickup_product-49/

お問い合わせはお気軽に
最寄りのJAまたは

JA全農ちば資材課（043-245-7379）へご連絡ください

TOPICS

イオン近畿圏で千葉県フェアを開催！

12月2日(金)～4日(日)、J A全農ちばは千葉県、東京青果(株)と協力し、イオン(株)の近畿圏において千葉県フェアを開催しました。昨年からの近畿方面の販路拡大に向けた取り組みとして実施しており、イオン(株)でのフェアは2年目となります。

今回は、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行ったうえで、スティック状にカットして塩で焼き上げたシルクスweetの試食も実施し、千葉県産のしつとりと甘く美味しいさつまいもをPRしました。



関西ならではの圧巻の陳列（イオン四条畷店）

また、だいこんやキャベツ、ねぎなどを山盛りに並べ、千葉を代表する主力品目の青果物は一際目立つものとなりました。

J A全農ちばは、今後も関係機関・企業と連携して、新規顧客の確保と販路の拡大を図るため「千葉県青果物フェア」の開催を継続してまいります。

引き続き、産地の皆さまのご協力をお願いいたします。

TOPICS

令和4年度千葉県農協A.T.A協議会 総合技術研究会および専門指導員資格認証式を開催

千葉県農協A.T.A協議会は12月15日(木)、ホテルウェルコ成田(成田市)で「令和4年度千葉県農協A.T.A協議会総合技術研究会および専門指導員資格認証式」を開催しました。

開会にあたり、同協議会の地引秀太会長は「生産資材価格高騰など、昨今の農業を取り巻く情勢は厳しい。今回の研究会で、各J Aの営農担当者の取り組みを参考にし、ぜひ営農指導に活かしてほしい」と挨拶されました。

総合技術研究会では、各J Aの担当者が堆肥の有効活用についてパネルディスカッションを行ったほか、専門指導員4名が取組事例を報告し、営農指導に関する知識の共有を図りました。

専門指導員資格認証制度は、産地の農業振興や生産者の手取り向上を目指し実施している制度です。参加者は、研修で得た情報・知識を持ち帰り、今後の営農指導の一助としています。

認証式にあたり、J A全農ちばの櫻井剛志副本部長は「現場における農業経営者の要望は多岐にわたるため、スピード感が求められる。指導員同士で悩みを共有し、現場が抱える問題可決に向け一歩ずつ前進してほしい」と激励の言葉を贈りました。今回認証を受けたのべ35名の皆さまの一層の活躍が期待されます。



今回認証を受けた専門指導員の皆さま



ハラペコさんに贈るいちばんレシピ



タアサイとあさりの焼きそば



材料（2人分）

- タアサイ……………1/4株
- エリンギ……………1本
- あさり……………150g
- にんにく……………1かけ
- しょうが……………1かけ
- 蒸し焼きそば……………2玉
- 酒……………大さじ2
- ごま油（そば炒め用）…小さじ1
- ごま油……………大さじ2
- オイスターソース……………小さじ2
- 塩……………適量
- こしょう……………適量

作り方

- ① タアサイは根元を少し切り落として、4 cm くらいの長さに切る。
- ② エリンギは根元を少し切り落として半分の長さに切り、拍子切りにする。
- ③ フライパンにごま油小さじ1をひき、蒸し焼きそばを炒めてから取り出しておく。
- ④ フライパンに砂抜きしたあさり・酒を入れて蓋をして蒸し、あさりの口が開いたら取り出してあさりと蒸し汁に分けておく。
- ⑤ フライパンにごま油大さじ2・千切りにしたにんにくとしょうがを入れてから火にかけて炒め、香りが出てきたら②を加えて炒める。
- ⑥ ①を加えて炒め（茎から順に）、④を加えてさらに炒める。
- ⑦ あさりの蒸し汁とオイスターソースを加えて炒め、塩・こしょうで味を調え、あさりを戻して混ぜ合わせる。

※エリンギの代わりに好みのきのこを使ってもOKです。

※オイスターソースがない場合は醤油を使ってもOKです。

作り方動画



その他のJ A全農ちばオリジナルレシピはこちらからご覧いただけます。



J A全農ちば ハラペコさんに贈るいちばんレシピ🐰

<https://www.zennoh.or.jp/cb/product/harapeko/ssi/>

レシピページ



全国の旬のおいしさをお届けするJAグループの頒布会

旬の味覚を
毎月
お届け

旬鮮倶楽部

旬鮮倶楽部は、
全国の旬のおいしさをお届けする
JAグループの頒布会です。
年1回のお申込みで、毎月カタログから
お選びいただいた商品をお届けします。
毎月旬の味覚が届く1年間をお楽しみください。

果物、野菜、お肉といった国産農畜産物や、それらを使ったお惣菜やスイーツに加え、全国各地の名産品やお花も取り揃えています。
旬の果物の味を楽しむ、遠方の名産品を旅行気分でお楽しみ、お花を見て楽しむなど、様々な楽しみ方が可能です。



旬鮮倶楽部のご利用方法

掲載商品一例

Step 1

カタログから毎月1品以上、年間の商品をお選びください。各商品は、2,970円～10,800円(税込み・送料込)です。

月別商品 旬の果物など、その月限定で注文できる商品(毎月10商品)



特集商品 コンセプトやイベントに合わせた特別な商品(9特集、計45品)

※特集により注文可能月が限られます。



通年商品 年間いつでも注文できる商品(38品)



Step 2

選んだ商品が毎月届きます。

Step 3

月々の商品代金は、JAにお持ちの
貯金口座からの自動振替となります。
※口座をお持ちでない方はJAへお問い合わせください。

※天候により生育状況が変化しやすい果物等が
中心のカタログです。
商品の性質上、お届け日をご指定いただくこと
はできませんのでご了承ください。

カタログのご希望、お申し込みはお近くのJAへお問い合わせください。

6月 倶楽部
感謝キャンペーン

1 年間利用者キャンペーン

2023年度「旬鮮倶楽部」を年間通じて12か月以上、
2023年1月31日(火)までに「ご注文いただいた方」。

抽選で
300名様

2 WEBアンケートキャンペーン

2023年度4月商品に同封する文書の二次元バーコードまたは
URLからアクセスし、WEBアンケートにご回答いただいた方。

抽選で
300名様

全国で合計600名様に抽選で4品から1品
選べるギフトカードをプレゼント!

チャンスは
2回!!



お知らせ

J全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の
皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、
下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報
は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用
いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

13:00～13:55 毎週 生放送

全国の農畜産物をプレゼントします。

15:50～16:00 毎週

生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

Tokyo fm

Life time audio 80.0

農業部

23:00～23:06 毎週

農業について一緒に楽しく学びましょう。

